

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス	都城キャンパス	開設学科	環境園芸学科				
科目名称	造園ガーデニング実習Ⅰ				授業形態	実習			
科目コード	710098	単位数	2単位	配当学年	2年	実務経験教員	○	アクティブラーニング	○
担当教員名	岡島 直方、平岡 直樹、林 典生、牧田 直子、櫻井 清喜、平木 克二								
授業概要	造園系分野に必要な基礎的な知識・技術を習得すると共に、その考え方・視点を習得してもらう。授業は2コマを1単元とし180分の実習となる。 【知識・理解の活用、課題解決】【汎用的技能、諸要因探求】【人間力、他者と協調】 造園の仕事で自営業を行っている講師の先生お二人に、具体的な施工や管理の方法などを指導していただく。								
関連する科目	後継科目は、「造園ガーデニング実習Ⅱ」、「造園施工実習」、「ガーデニング特別実習」である。								
授業の進め方と方法	受講者をグループに分け、テーマごとに実施する。昨年度は3グループに分かれて実施した（第2・15回目は3つの異なる実習内容をローテーションで受講、第3～14回目はグループ毎で受講、実習内容によりグループ内でさらに分かれてローテーションで受講になる。）目標としている課題を達成するための身体の動かし方を体験する。 実習内容は天候等の都合で変更する場合がある。								
授業計画【第1回】	オリエンテーション 担当教職員の紹介、実習全体の流れの説明後、実習実施場所管理を行う。								
授業計画【第2回】	男結び・道具の使い方 竹垣等に必要な男結び等のロープワーク、樹木剪定を通じて剪定はさみ・のこぎりの使い方の確認を行う。								
授業計画【第3回】	移植工Ⅰ 移植に必要な樹木の掘り取り・根巻の練習を行う。								
授業計画【第4回】	移植工Ⅱ 実際に移植を行い、支柱設置まで行う。								
授業計画【第5回】	バラ管理Ⅰ 外部のバラ園にて、バラ園の管理方法説明・バラの剪定を行う。								
授業計画【第6回】	バラ管理Ⅱ 外部のバラ園にて、バラ園に植栽されている宿根草等の管理作業を行う。								
授業計画【第7回】	レンガ敷工Ⅰ レンガ敷工に使用するレンガや工具・道具の説明を受けたのちに、目地なしでレンガ敷を行う。								
授業計画【第8回】	レンガ敷工Ⅱ レンガ以外の石材も使用して、目地ありのレンガ敷を行う。								
授業計画【第9回】	機械・管理Ⅰ 刈払機・芝刈機を使用して、草地管理を行う。								
授業計画【第10回】	機械・管理Ⅱ 玉掛けも含めチェーンブロック・小型式移動クレーン使用を習得する。								
授業計画【第11回】	木工Ⅰ 使用する木材や工具・道具類の説明を行った後に、採寸・切断を行う。								

授業計画 【第12回】	木工Ⅱ 切断した木材を使用して、工具を用いて組み立て・塗装を行う。
授業計画 【第13回】	ガーデン基礎Ⅰ コンクリートブロックの特性を説明を受けた後、ブロック積工で使用する工具・道具の使い方の練習を行う。
授業計画 【第14回】	ガーデン基礎Ⅱ 整地・配筋も含むブロック積工の準備・施工を行う。
授業計画 【第15回】	外部講師による管理用機械操作体験 草地管理に使用する大型管理機械やリモート管理機械の特性について説明を受けた後に、操作を体験する。
授業の到達目標	造園系分野に必要な、知識・技術および考え方・視点を習得することで、様々な現場や分野で活用できる人材を育てることを目指す。 【専門分野のスキル】 【コミュニケーション力】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2) / 3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外の学修 【予習】	実習ノート（ファイル）を配布する。 予定している実習内容について事前に調べるとともに、レポート作成に必要な植物材料を実習1回につき3つずつ丁寧にレポートをまとめてください。（所要時間30分程度） レポート作成の所要時間を記入するように。 詳細はガイダンス時に説明する。
授業時間外の学修 【復習】	実習ノート（ファイル）を配布する。 実習内容を思い出しながら丁寧にレポートをまとめてください。（所要時間1時間） レポート作成の所要時間を記入するように。 詳細はガイダンス時に説明する。
課題に対する フィードバック	実習授業なので、その日の実習内容が主な課題となる。説明をよく聞いて、適切に実施できているかどうかは観察され、問題点があれば指摘される。
評価方法・基準	毎授業開始・終了時のレポートチェック、最後にチェックしたレポートをまとめて提出し、そのレポートの内容(記載漏れによる減点含む)で評価の上、複数回実施する持ち物チェック・授業態度による減点、発表などによる加点による評価を行う（100点）。 レポート未提出の学生は成績評価対象外になります。各回レポートの提出をため込むと、期末に提出レポートの枚数が増やされるか、減点の対象になります。
テキスト	造園ガーデニング実習ノートおよび授業中に配布する資料など
参考書	多数あるので、授業中に紹介する。
備考	実習系の科目を体系的に取得してもらいたいのので、初回に実習系科目相互のつながりについて説明を行う。 造園業に携わっている教員が授業を担当する。 持参物・服装等は第1回目のオリエンテーションにて説明を行うので、必ず出席すること。 体調を整えて、作成済みのレポートを持参して実習に参加すること。 実習内容はその年の状況に合わせて内容や取り上げる順序が変わる場合があります。